

全国協同集会実行委員・分科会紹介 2面  
 法制化自治体訪問 / 山口さん連載 3面  
 連合会古村新理事長に聞く 4面  
 沖縄寄付講座 / 基地建設反対行動 5面  
 夏の思い出 6・7面  
 登米里守型村業 / 明大・大高ゼミ 8・9面  
 ルドワーク / 岡田弁護士連載 8・9面  
 松本研修 / 新潟自治体政策研究会 10面  
 労協ながの寄付活動 / 他 11面

# 日本労協新聞

## ICA・ワーカーズコープ

8/25、9/5  
 (2017年)  
 No.1127

発行所 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会  
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル7階  
 ☎ 03(6907)8040 FAX 03(6907)8041  
 毎月 5日・15日・25日発行  
 会員外は1部162円 年5832円(送料7308円)  
 郵便振替 日本労協連関紙誌部専用  
 東京 00170-8-186765  
 編集人 松沢常夫

URL : http://www.roukyou.gr.jp E-mail : info@roukyou.gr.jp

# みんなでつくろう 市民自治の新たなページを

## 協同集会在滋賀(10月7、8日)

### 開催まで1カ月 実行委員に聞く

10月7、8日に滋賀県で、「いま『協同』が創る2017全国集会(全国協同集会在滋賀)」が開かれます。30周年の節目となる集会成为成功させようと、20団体、400人近い人たちが実行委員会に結集。開催まで残すところ1カ月となり、周知活動や分科会準備を精力的に進めています。実行委員の活動の様子や集会所への思いを聞きました。(1、2面)

## 感じて欲しいいのちを守る地域の営み

### 共同代表・溝口弘さん

#### 「共に働く」にこだわる

共同代表の溝口弘さんは、「滋賀では、『溝口さんがいうなら』と人が動きだす」(ワーカーズコープ西日本本部花崎昌子さん)と言われる人。株式会社なんてん共働サービス取締役会長をはじめ、活動は多岐にわたり、地域でいくつもの市民団体の代表や理事を務めています。溝口さんは滋賀県内

「共に働く」にこだわる。思ったから」と説明します。緑化、清掃などの事業から始め、その後、介護保険制度がスタートすると制度が掲げる市民主体の理念に共鳴。障がい者だけでなく、高齢者も自分らしく暮らせる地域を目指して、00年に通所、訪問、宅老所などを行う「共生舎なんてん」、09年には、認知症高齢者や障がい者の地域生活、就労支援に向け、小規模多機能型居宅介

「共生舎なんてん」で始めた、障がい者が介護スタッフとして働く取り組みは、当時としては画期的なもの。その後、滋賀県で行われる「知的障害者介護技術等習得事業」へとつ

この取り組みは、コナン市民共同発電所プロジェクトに発展。現在4カ所で発電を行っている。利益配当は地域商品券で支払われます。「地域を動かすには、ボランティアだけではできない。お金が循環する経済的なインセンティブ(動機付け)と、そこに障がい者や高齢者が関わられる仕組みをつくるのが大切」と、溝口さん。

「共生舎なんてん」で始めた、障がい者が介護スタッフとして働く取り組みは、当時としては画期的なもの。その後、滋賀県で行われる「知的障害者介護技術等習得事業」へとつ

97年、なんてん共働サービスの事務所がある建物の屋上に、太陽光パネルを設置。事業型としては日本初の、市民出資による共同発電所「てんとつむし1号」を開設しました。

発電の本格化はこれからですが、地域の子どもや障がい者、高齢者が、湖南市内の30カ所で空中栽培によるイモ作りに取り組んでいます。

#### 協同労働広がるきっかけに

集会実行委員会に、市民団体や自治体職員なども多く参加。それぞれの問題意識が

「滋賀でも様々な集会所が行われているが、これだけ多様な団体が

「地域が疲弊する中、困った、どうしようではないか、いのち、環境を守ろうと市民が努力している。その営みを実感してもらえれば」と、話しています。(本紙炭谷)



共同代表の溝口弘さん(なんてん共働サービス取締役会長)。清掃、福祉、再生可能エネルギーなど多様な事業に取り組み、「共に生き、共に働く」地域を目指す



なんてん共働サービスの事務所。屋上には太陽光パネルを設置



小規模多機能型居宅介護事業所「秋桜舎」。障がい者も介護スタッフとして働く



イモ発電にも取り組む。地域の人々と空中栽培で発電に使うイモを育てている

分科会は、「こなんイモ・夢づくり協議会」のイモ発電実験場、アール・フリユット(株)の作品鑑賞、甲賀の木の駅プロジェクトなどの現場を巡り、近江の人たちが守ってきた環境や障がいのある人たちの

※アール・フリユット仏語で「生の芸術」。障がいのある無にかかわらず、美術の専門教育を受けていない人たちに

による自発的表現活動。